

スタッフ紹介



ロボット手術センター長 兼 泌尿器科部長

石田 勝（いしだ まさる） 慶應義塾大2002年卒

専門分野 泌尿器科

特に専門としている分野
尿路性器がんの診断・治療、ロボット支援手術、泌尿器科腹腔鏡手術、前立腺がん治療

学会専門医・認定医
日本泌尿器科学会専門医・指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医・指導責任者、ロボット支援手術認定医 (da Vinci S・Si・X・Xi)、ロボット支援手術プロクター認定医 (手術指導医 前立腺全摘除術、腎部分切除術、膀胱全摘除術)、日本内視鏡外科学会技術認定医 (泌尿器腹腔鏡)、日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医、臨床研修指導医、厚生労働省開催指針準拠 緩和ケア研修会修了、2nd degree Master in Surgical Andrology, University of Torino、博士 (医学)、日本医師会認定産業医、慶應義塾大学医学部講師 (非常勤)



泌尿器科医長

小林 裕章（こばやし ひろあき） 慶應義塾大2008年卒

専門分野 泌尿器科

特に専門としている分野
尿路性器がんの診断・治療、前立腺肥大症に対する低侵襲手術治療、尿路結石症、ロボット支援手術

学会専門医・認定医
日本泌尿器科学会専門医・指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、ロボット支援手術認定医 (da Vinci S・Xi)、ロボット支援手術プロクター認定医 (手術指導医 前立腺全摘除術、膀胱全摘除術)、日本内視鏡外科学会技術認定医 (泌尿器腹腔鏡)、日本泌尿器内視鏡学会泌尿器腹腔鏡技術認定医、臨床研修指導医、厚生労働省開催指針準拠 緩和ケア研修会修了



泌尿器科医員

案納 忠譜（あんのう ただつぐ） 慶應義塾大2013年卒

専門分野 泌尿器科

特に専門としている分野
尿路性器がんの診断・治療、前立腺肥大症に対する低侵襲手術治療

学会専門医・認定医
日本泌尿器科学会専門医、ロボット支援手術認定医 (da Vinci Xi)、厚生労働省開催指針準拠 緩和ケア研修会修了



消化器外科医長

西山 亮（にしやま りょう） 東京医科大2005年卒

専門分野 消化器外科

特に専門としている分野
肝・胆・膵疾患

学会専門医・認定医
日本外科学会外科専門医・指導医、日本消化器外科学会消化器外科専門医・指導医、日本肝胆膵外科学会高度技能専門医、日本内視鏡外科学会技術認定医、日本消化器病学会消化器病専門医、日本肝臓学会肝臓専門医、日本胆道学会認定指導医、日本膵臓学会認定指導医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本消化器外科学会消化器がん外科治療認定医、日本肝胆膵外科学会評議員、日本膵臓学会認定指導医、ロボット支援手術認定医 (da Vinci Xi)、博士 (医学)、厚生労働省開催指針準拠 緩和ケア研修会修了、神奈川県立保健福祉大学 非常勤講師

外来診療表

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	泌尿器科	小林裕章 (第1・3・5 前立腺)	宮崎保匡 (前立腺・腎)	石田勝 (前立腺・腎・膀胱・腎盂形成)	小林裕章 (前立腺)	案納忠譜 (前立腺)
午後	呼吸器外科	—	—	井上芳正	—	—
	消化器外科※	江川智久	山田暢	西山亮	青山純也	—
	婦人科※	吉田卓功	—	田口圭祐	—	—

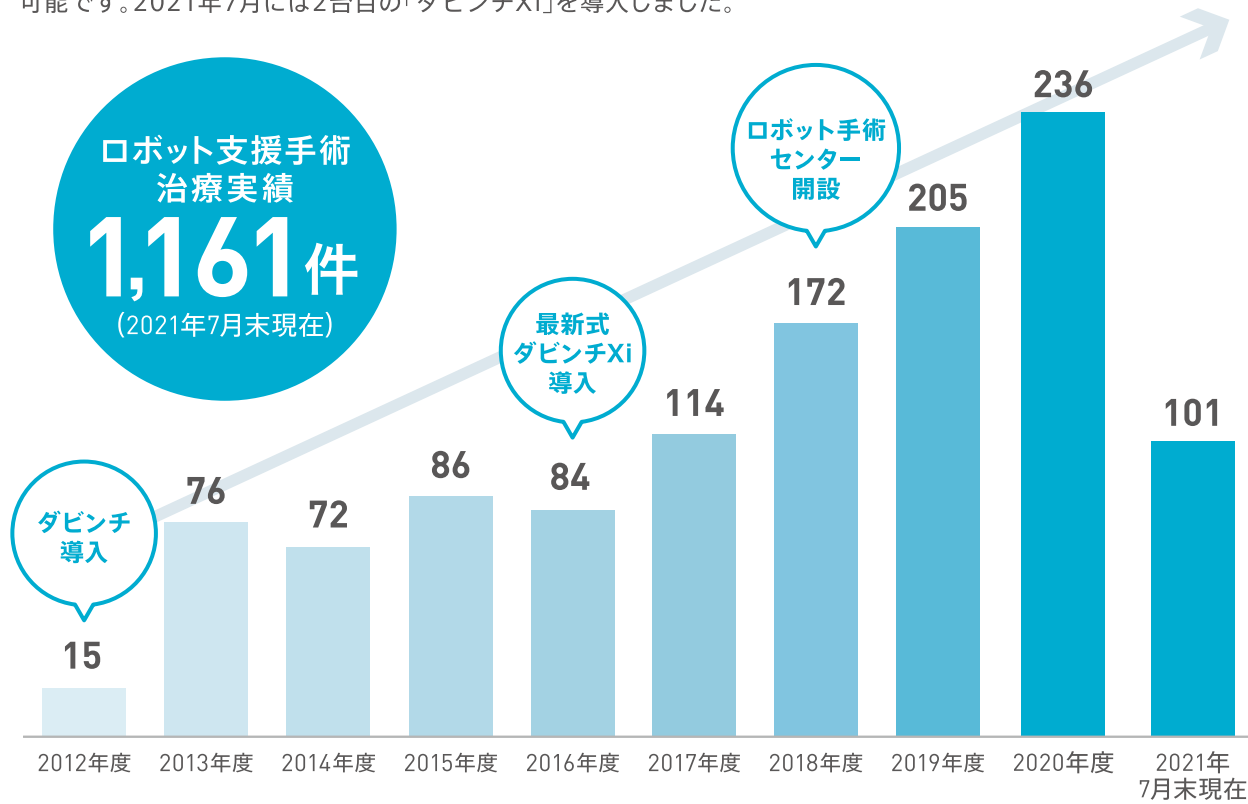
※13:00と13:30の予約枠がございます。呼吸器外科は13:00の予約枠となります。

東部病院ロボット手術センターの特長

「最新手術件数」は
こちらから



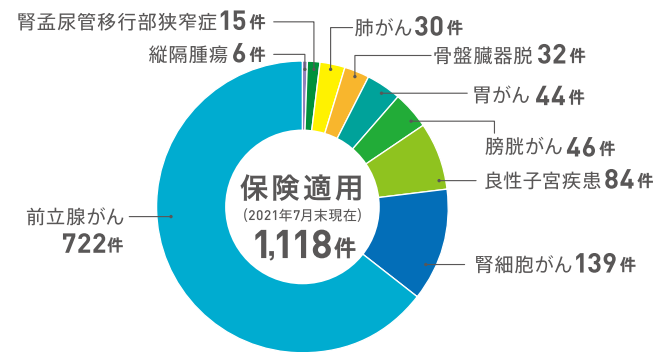
当院は、2012年に横浜市で初めて「ダビンチ」(da Vinci Surgical System)を導入。以来、ロボット支援手術の実績を重ねてきました。2016年には県内で初めて最新式の「ダビンチXi」にバージョンアップ。2018年にロボット手術センターを開設し、ロボットを効率的に運用する体制を整えました。現在、最短2週間の待機期間で手術が可能です。2021年7月には2台目の「ダビンチXi」を導入しました。



図で分かる東部病院のロボット支援手術

ロボット支援手術の対象疾患

前立腺がん、腎細胞がん、胃がん、膀胱がん、良性疾患での子宮摘出、骨盤臓器脱、腎盂尿管移行部狭窄症、縦隔腫瘍、肺がんなどの手術が保険適用で受けられます。直腸がん、子宮体がん(2022年保険適用予定)などの手術も開始し、今後も対象手術を拡大していきます(施設基準に必要な症例数到達までは保険適用外)。



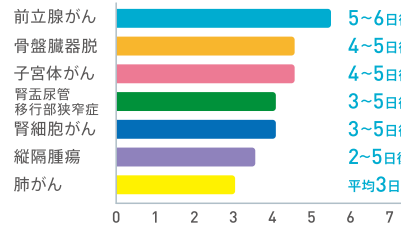
術後の早期回復

手術支援ロボットは、これまでの腹腔鏡下手術よりも緻密で複雑な手術操作が可能で、より難しい手術にも対応することができます。また、腹腔鏡下手術と同じ内視鏡手術のため、患者さんの身体への負担が少ない低侵襲な治療です。手術支援ロボットによる手術は、術後の早期回復が大いに期待できます。

ロボット支援手術のながれ

- 1 患者支援センター受診
- 2 手術前日入院
- 3 手術
- 4 手術後5日前後で退院

各疾患の術後から退院までの平均日数



ご挨拶

東部病院が担う最先端医療の柱の一つとして、横浜市で初となるロボット支援手術を2012年に導入しました。泌尿器科による前立腺がんからスタート、婦人科・外科・呼吸器外科へと拡大し、4診療科で11術式を実施できる体制となりました。

ロボット支援手術は低侵襲であることに加えて、高い操作性により従来の手術を超える精密で確実な手術を実現させてくれます。

1,000例を超える豊富な手術実績をもとに質の高い治療を提供し、地域の皆さまの信頼に応えてまいります。

ロボット手術センター長
石田 勝

泌尿器科

泌尿器系臓器にかかわる疾患を対象に900件以上の実績があります。前立腺がんには、尿失禁の早期回復と性機能温存を意図した神経温存手術を実施。腎臓がんについては全摘しなくとも機能温存できる症例も増えています。また、膀胱がんは尿路変更も含む全ての操作をロボット支援手術で実施。泌尿器科ロボット手術はほとんどの場合輸血が必要なくなりました。ダビンチ操作のライセンス取得に必要な手術症例見学の施設に認定されています。

【実施手術】 前立腺全摘、腎部分切除術、膀胱全摘、腎盂形成術、仙骨腫固定術

婦人科

当院では良性子宮全摘術・仙骨腫固定術(保険適用)や早期子宮体がんに対してロボット支援手術を実施しています。腹腔鏡下手術より手術の傷に対し負担が少なく、術後の疼痛が軽減されます。腹腔鏡下手術適応の患者はもちろんのこと、BMIが40前後でも緑内障や脳血管疾患などに手術体位が禁忌ではない患者さんはロボット支援手術対象になっています。また、術前検査に問題がなければ、年齢による適応除外もありません。

【実施手術】 子宮全摘、準広汎子宮全摘(骨盤リンパ節郭清術)、仙骨腫固定術

ロボット手術センター

外科

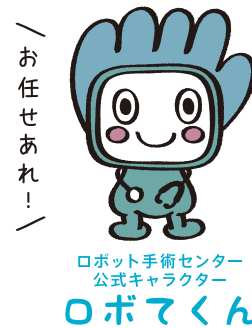
外科では2013年からいち早く手術支援ロボットを用いた胃切除を実施しており、2019年4月からは保険診療として受けていただくことが可能となりました。外科領域ではまだ数少ない内視鏡外科学会のプロクター(手術指導医)も在籍しています。2020年12月からは直腸がん、2021年8月から腓胝体尾部腫瘍に対するロボット支援手術を開始しました。

【実施手術】 幽門側胃切除、胃全摘、直腸切除・切断術、腓胝体尾部切除術

呼吸器外科

当院は、呼吸器外科にロボット支援手術を導入する県内6施設のうちのひとつです。肺がん、縦隔腫瘍が対象となります。手術支援ロボットの導入により、胸腔鏡併用手術や完全胸腔鏡下手術などの従来のアプローチと比較して、精密で自由度の高い手術操作が可能です。患者さんの術後疼痛の軽減と早期回復が期待されています。

【実施手術】 肺悪性腫瘍手術、縦隔悪性腫瘍手術、良性縦隔腫瘍手術



ご紹介をお待ちしております

患者さんをご紹介いただく際は紹介状をお渡しいただき、受診希望日の初診受付時間に1階「総合受付」へお越しください。

ご予約いただくことも可能です。ロボット手術外来初診予約の方は代表電話045-576-3000(受付時間 平日9:00~17:00)におかけいただくほかWEB予約もご利用いただけます。

当院は原則紹介制です。紹介状がない場合は、保険外併用治療費として5,500円を患者さんにご負担いただいております。